

北海道電力泊発電所問題への対応を求める意見書

東日本大震災に伴い発生した東京電力福島第一原子力発電所における重大事故は、改めて原子力発電の持つ危険性を私たちの前に明らかにすることとなりました。

これまで説明されてきた安全神話は崩れ、一たび放射性物質が放出されれば、それによりもたらされる被害は広範囲にわたり、将来にわたって深刻な影響を及ぼすことから、徹底した安全対策が緊急に求められます。北海道電力泊発電所については、3号機建設計画時及びプルサーマル計画に関する公開シンポジウムにおけるいわゆるやらせの問題も道民の信頼を失う大きな問題となっています。

よって、北海道におかれましては、北海道電力泊発電所に係る問題について、下記の点について対応されますよう強く要望いたします。

記

- 1 やらせの問題を徹底究明の上、全容を道民に明らかにすること。
- 2 道央圏を含め、原子力防災対策を充実させること。
- 3 泊発電所3号機におけるプルサーマル計画を実施しないこと。
- 4 福島第一原子力発電所の事故を踏まえ泊発電所の安全対策を強化し、安全性が確認されるまでは、定期検査中の1号機及び2号機の再稼動を認めないこと。
- 5 再生可能な自然エネルギーの利用を促進し、段階的に原子力発電所の縮減を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成23年12月20日

北海道江別市議会

提出先
北海道知事